

1. 2007年の世界のジュエリー小売市場規模は約1,320億ドル

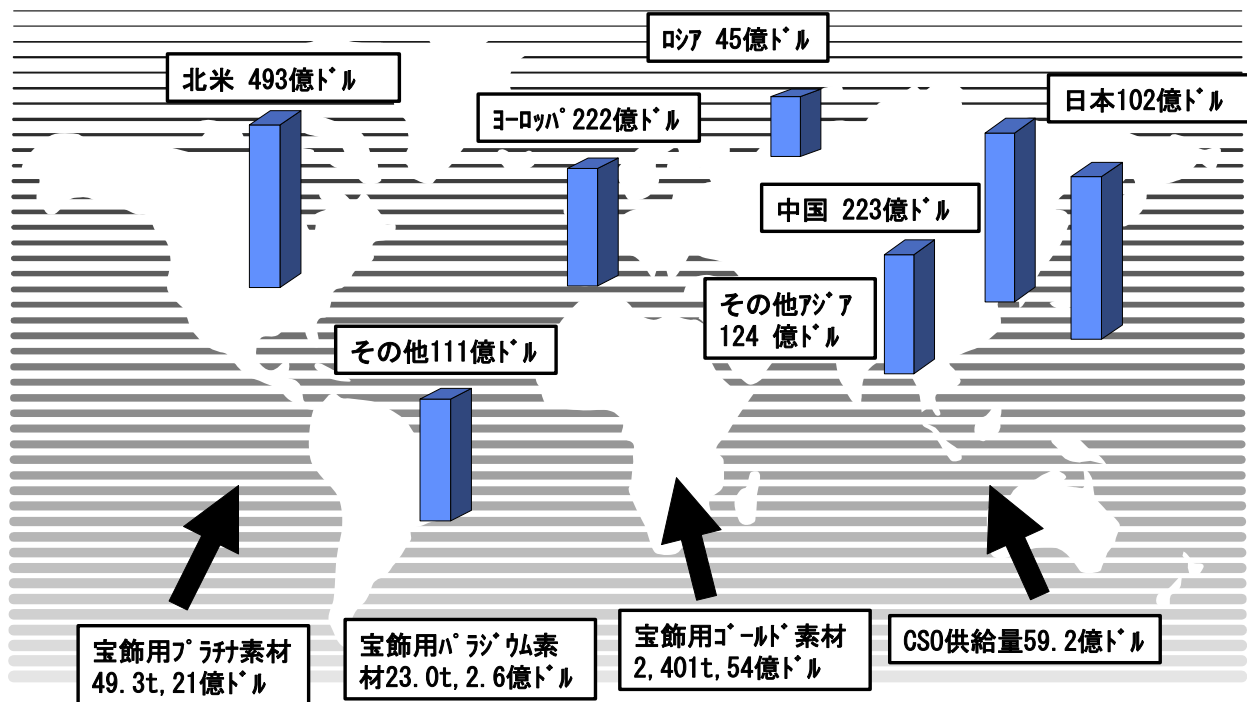
矢野経済研究所では毎年世界のジュエリー小売市場規模を推定している。推定方法としては、金、プラチナ、ダイヤモンドなど各素材の宝飾需要及び、世界の宝飾品販売統計数字、消費者支出、輸入統計数字などを元としている。もちろんアジアやヨーロッパなどは税金の問題や売上の申告の問題で日本ほど透明化されていないので、あくまでも参考数値である。

これによると、2007年の世界のジュエリー小売業の市場規模は2006年の1,261億ドルから一気に50億ドル以上が増加し、1,320億ドル、日本円で約15.4兆円（117円/ドルで換算。以下同様）という規模となっている。主な成長の要因は、ダイヤモンドや地金相場の高騰によるジュエリー小売価格の上昇、中国、インド、ロシア、ドバイの経済成長に伴う市場の拡大が、米国市場、日本市場の落ち込み（ドルベース）をカバーした形である。

2008年の見通しも、余談を許さないものの、中国、インド、ロシア、中東の成長維持を受けて、引き続き成長するものと見られる。

一方、世界のダイヤモンドジュエリーの小売売上は730億ドルで、そのうちダイヤモンドが占める金額は2007年に初めて200億ドルを突破したといわれている。そのうち約50%がアメリカで消費されている。アメリカ国民は年間4,300万個のダイヤモンドジュエリーを消費し、平均小売単価819ドル、合計365億ドルの市場を作り出している。ジュエリーに含まれるダイヤモンドはおおよそ91億ドル。世界最大のダイヤモンド・マーケットの不景気は、ダイヤモンド業界に大きなインパクトを与えている。

世界のジュエリー小売総市場 (2007) ・ ・ ・ 約1,320億ドル



ジャパンプレシャス編集部推定

※ 詳細や中国市場については宝石貴金属市場年鑑に掲載。

詳しくは→宝石年鑑 DM のアドレス